

平成28年度 決算報告書

国立大学法人名古屋工業大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	4,650	4,658	8	(注1)
施設整備費補助金	286	329	44	(注2)
うち補正予算による追加	-	40	40	
補助金等収入	186	254	68	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	25	20	△5	(注4)
自己収入	3,437	3,468	31	
授業料、入学料及び検定料収入	3,238	3,254	17	(注5)
雑収入	199	213	14	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,477	2,224	747	(注7)
目的積立金取崩	-	262	262	(注8)
計	10,060	11,215	1,155	
支出				
業務費	8,086	8,277	190	
教育研究経費	8,086	8,277	190	(注9)
診療経費	-	-	-	
施設整備費	311	349	39	(注10)
うち補正予算による追加	-	40	40	
補助金等	186	254	68	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,477	2,097	620	(注12)
長期借入金償還金	-	-	-	
計	10,060	10,977	917	
収入－支出	-	238	238	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった特殊要因運営費交付金が交付されたことにより、予算額に比して決算額が8百万円多額となっています。

(注2) 施設整備費補助金収入については、予算段階では予定していなかった補正予算による追加交付及び災害復旧経費の追加交付により、予算額に比して決算額が44百万円多額となっています。

(注3) 補助金等収入については、受入額の増により、予算額に比して決算額が68百万円多額となっています。

(注4) 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、交付額の減により、予算額に比して決算額が5百万円少額となっています。

(注5) 授業料、入学料及び検定料収入については、入学者数が見込数を上回ったため、予算額に比して決算額が17百万円多額となっています。

(注6) 雑収入については、主として予算段階では予定していなかった企業研究セミナーの追加実施や講習料及び建物貸付料の増収等により、予算額に比して決算額が14百万円多額となっています。

(注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究及び共同研究の受入れ増により、予算額に比して決算額が747百万円多額となっています。なお前期からの繰越額は334百万円となっています。

(注8) 目的積立金取崩については、平成27年度決算において生じた剰余金262百万円が前中期目標期間目的積立金として承認され、その全額を取り崩したため、予算額に比して決算額が多額となっています。

(注9) (注8)に示した理由等により、予算額に比して決算額が190百万円多額となっています。

(注10) (注2)、(注4)に示した理由等により、予算額に比して決算額が39百万円多額となっています。

(注11) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が68百万円多額となっています。

(注12) (注7)に示した理由等により、予算額に比して決算額が620百万円多額となっています。